

高校生アイデアの支援実行による若者世代の後継者増と認知度向上

白石踊会

活動の目的

白石島では2020年度、小学校は休校中、中学校は生徒2名のみという著しい少子高齢化である。800年間、脈々と島内で継承されてきた白石踊であるが、白石踊の継承者不足が懸念される。しかし、2019年度から福武教育文化振興財団のご助成により島外の高校生のアイデアを活用した結果、若い世代の参加者が増え、白石踊の認知度も向上した。高校生たちは白石踊を習うと同時にコンテストやシンポジウムに積極的に参加して白石踊の知名度向上に努めている。白石踊後継者や交流人口の増加にも寄与する活動になっていると考える。

若者世代への浸透力に欠ける現状を打開するために、今後さらに高校生のアイデアを我々大人たちがサポートしながら大きく育み、高校生の活動を支援し、白石踊の後継者の裾野を拡げていきたい。

活動の内容及び経過

2020年度は新型コロナウイルスの感染防止の観点から、毎月の定期練習会が開催できない時期が長く、7月の白石踊ツアーも8月の島の盆の行事も開催できなかった。島の盆は戦時中も途絶えたことがなかったので、いかに異例の事態だったかがわかる。この状況下でも高校生たちは感染防止に留意しながら以下の取り組みをおこなった。

(1) 笠岡市役所サイトで白石踊会の活動を広報

高校生が草稿を作成し、白石踊会で校閲したのちに笠岡市役所に掲載を依頼している。

(2) 白石島海岸清掃・魅力発見のトレッキング

参加する児童生徒の往復の船運賃補助

(3) 高校での白石踊講習会

金光学園高校に笠岡支部会員が出向き、高校生に教えた。

(4) 高校生によるコンテストでのPR

高校生が自主的に白石踊をテーマにしたプランを作成して応募した。メディアに取り上げられる場合もあり認知度向上につながった。これらコンテストの最終選考会に出場する場合の旅費も補助した。

活動の成果・効果

白石踊の認知度を県内外で向上させることができたとともに、若い世代が定期練習会に来て白石踊に触れる機会を増やすことができた。個々の成果は以下のとおりである。

(1) 笠岡市役所HPでの活動報告 (2) 白石島海岸清掃

(3) 金光学園高校での白石踊講習会

(4) 高校生によるコンテスト等の応募と実績

① 福武教育文化振興財団 2019年度助成対象者による Zoom オンライン成果報告会での発表



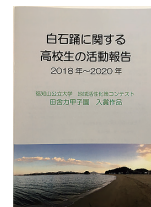
金光学園高校での白石踊講習会



白石島 海岸清掃



各種コンテストでの発表



田舎力甲子園2年連続入賞の記録冊子

- ② 2020地域活性化策コンテスト「田舎力甲子園」
佳作（福知山公立大学）
- ③ 高校生ボランティア・アワード2020
特別賞「アイダ設計賞」（風に立つライオン基金）
- ④ 社会共創コンテスト 地域課題部門 奨励賞（愛媛大学）
- ⑤ 岡山イノベーションコンテスト2020
特別賞「MASC賞」（中国銀行・山陽新聞社）
- ⑥ 第24回ボランティア・スピリット・アワード
コミュニティ賞（プルデンシャル生命等）
- ⑦ 第8回 岡山高校生ボランティア・アワード出場
- ⑧ 第6回現代ビジネスプラン・コンペ2020
審査員特別賞（兵庫大学）
など

今後の課題と問題点

白石中学校での白石踊講習会を30年以上開催してきたおかげで、40歳以下の白石島出身者は全員が白石踊を踊ることができる。白石中学校を舞台にした継承活動は私たちが白石踊会の先輩方から引き継いできた。非常に有効な伝統文化の継承方法だ。しかしながら、急激な少子高齢化は島内に継承してくれる子どもがいないという事態に陥っている。白石中学校は2021年度限りで休校になる。島内に子どもが増えるか、島外の後継者を増やすかしなければ、白石踊という私たちの誇る文化が絶えてしまう。この岐路に私たちは立っている。

このギリギリの局面で幸いにも島外の高校生が白石踊に関心を寄せてくれ、広報活動をしてきている。私たちは伝統を守り伝えていくと同時に高校生の若い感性を大切に応援していきたいと思う。

●代表者：河田裕善 ●所在地：笠岡市白石島

●TEL：0865-68-3002

●URL：https://www.city.kasaoka.okayama.jp/soshiki/39/34282.html

●メンバー数：450名